

xStream ポータル v4.15.0 から v4.17.1 へのバージョンアップに伴う仕様変更について

v1.0.1

Table of Contents

Table of Contents	2
1 変更内容	3
2 変更内容詳細	7
2.1 アクセス許可の管理機能の変更	7
2.1.1 ユーザーグループの管理機能	7
2.1.2 リソースグループの管理機能	8
2.1.3 ロールの管理機能	9
別紙：推奨対応策の実施手順	11
■ パターン 1	11
■ パターン 2	20
■ パターン 3	29
■ パターン 4	30

1 変更内容

変更内容は下記の通りです。

区分	機能	内容
削除	言語設定機能	サポートする言語から、韓国語が廃止されます。
削除	OS Customization 機能	<p>OS カスタマイゼーションを保存および適用する機能が廃止されます。</p> <p>お客様は、VM 作成時の OS 設定を OS カスタマイゼーションとして保存、および保存した OS カスタマイゼーションを他の VM 作成時に適用できなくなります。</p> <p>代替機能として「VM ポリシー」をご利用いただけます。VM ポリシー機能では、VM 作成時の OS 設定を保存、または保存した VM ポリシーから他の VM を作成することができます。</p>
削除	バッチモードを用いた VM 作成機能	<p>バッチモードを用いた VM 作成機能が廃止されます。</p> <p>代替機能として「VM ポリシー」をご利用いただけます。VM ポリシー機能では、一度に複数の VM を作成することができます。</p>

変更 ユーザーグループの管理機能

「ユーザーグループの管理」機能でデフォルトで提供されるユーザーグループが以下の通り変更されます。

v4.15	v4.17.1
・ All Users	・ All Users
・ Compliance Documents (※)	-
・ Invoice Documents (※)	-
・ System Administrators	・ System Administrators
・ Tenant Administrators	・ Tenant Administrators
-	・ Application Administrators
-	・ Landscape Administrators
-	・ Read-only Users
-	・ VM Console Users

(※) v4.15 ではユーザーグループ「Compliance Documents」および「Invoice Documents」は提供しておりません。v4.17.1 では画面上から削除されます。

v4.17.1 で提供される「ユーザーグループ」の詳細につきましては、「2.変更内容詳細- 2.1 アクセス許可の管理機能の変更」を参照ください。

変更 リソースグループの管理機能

「リソースグループの管理」機能でデフォルトで提供されるリソースグループが以下の通り変更されます。

v4.15	v4.17.1
・ All Compliance Documents (※)	-
・ All Invoice Documents (※)	-
・ All Networks	-
・ All Resource Pools	-
・ All Resources	・ All Resources
・ All Storage	-
・ All Virtual Machines and Templates	-
・ Unassigned	・ Unassigned

(※) v4.15 ではリソースグループ「All Compliance Documents」および「All Invoice Documents」は提供しておりません。v4.17.1 では画面上から削除されます。

v4.17.1 で提供される「リソースグループ」の詳細につきましては、「2.変更内容詳細- 2.1 アクセス許可の管理機能の変更」を参照ください。

削除 リソースグループの管理機能

リソースグループのメンバー管理機能が廃止されます。

お客様は作成済みのリソースグループに、VM を除くリソースを、リソースグループメンバーとして追加または除外ができなくなります。

VM については、VM の詳細画面から、作成済みのリソースグループに VM を追加または除外することができます。

変更 ロールの管理機能

「ロールの管理」機能で提供される各ロールの権限が変更されます。

変更内容の詳細につきましては、「2.変更内容詳細- 2.1 アクセス許可の管理機能の変更」を参照ください。

廃止	組織のアクセス機能	<p>お客様組織のアクセス制御リストが表示される組織アクセス画面が廃止されます。</p> <p>お客様組織のアクセス制御リストへのロールの割り当てはロールの管理機能で実施できます。</p>
変更	2 要素認証を用いたポータルアクセス機能	<p>2 要素認証を用いたポータルアクセス機能において、ユーザーが 11 回以上ログインに失敗した場合に、自動的に 2 要素認証が無効化される機能を提供します。</p> <p>また 2 要素認証が無効化された際に、無効化されたユーザー宛てに、「[Enterprise Cloud for ERP]2 要素認証の無効化」メールが送信されます。</p>
削除	アラート表示機能	<p>データストアの使用率がデータストアサイズの 8 割および 9 割を超えた際に、アラートを表示する機能が廃止されます。</p> <p>データストアの消費量は、消費レポート機能の Tenant Storage DCR Report をご確認ください。</p> <p>また、当社のサービス基盤監視によりデータストア使用率の閾値超過を検知した際は、お客様に通知いたします。</p>
削除	アラートメール機能	<p>ストレージの使用率が Storage Profile の 8 割および 9 割を超えた際に、お客様にアラートメールを送信する機能が廃止されます。</p> <p>データストアの消費量は、消費レポート機能の Tenant Storage DCR Report をご確認ください。</p> <p>また、当社のサービス基盤監視によりデータストア使用率の閾値超過を検知した際は、お客様に通知いたします。</p>
変更	API 機能	<p>Power off 状態の仮想マシンに対して「仮想マシンの Power OFF」API を実行した場合のレスポンス(StateMessage)が、「Error」から「Success」に変更されます。</p>

その他軽微な仕様変更、不具合修正を含みます。

変更内容につきまして、ご不明な点がございましたら、チケットシステムにてお問合せください。

2 変更内容詳細

2.1 アクセス許可の管理機能の変更

変更内容は下記の通りです。

2.1.1 ユーザーグループの管理機能

2.1.1.1 デフォルトで提供されるユーザーグループ

v4.17.1 で提供される「ユーザーグループ」の詳細は下記の通りです。

v4.15 で提供している「All Users」、「System Administrators」、「Tenant Administrators」に加え、「Read-only Users」、「VM Console Users」が追加されます。

ユーザーグループ名	主な役割
・ All Users	・ すべてのユーザーが所属するユーザーグループです。
・ System Administrators	・ VM 作成、VM 管理等のシステム管理を行うユーザー向けのユーザーグループです。
・ Tenant Administrators	・ 組織のコンポーネント管理、ユーザー管理等を行うユーザー向けのユーザーグループです。
・ Read-only Users	・ すべてのユーザーが所属するユーザーグループです。 ・ レポートの作成および出力、システムの参照のみを行うユーザー向けのユーザーグループです。
・ VM Console Users	・ VM の参照、VM の Console Access を行うユーザー向けのユーザーグループです。
・ (Application Administrators)	・ 本サービスでは、ユーザーグループ「Application Administrators」は提供されません。使用しないでください。
・ (Landscape Administrators)	・ 本サービスでは、ユーザーグループ「Landscape Administrators」は提供されません。使用しないでください。

2.1.1.2 ユーザーの所属するユーザーグループ情報

バージョンアップ前に作成されたユーザーのユーザーグループ情報はバージョンアップ後も引き継がれます。また新たに「Read-only Users」に所属します。

バージョンアップ後に作成されたユーザーはデフォルトで「All Users」および「Read-only Users」に所属します。

2.1.2 リソースグループの管理機能

2.1.2.1 デフォルトで提供されるリソースグループ

v4.17.1 で提供される「リソースグループ」の詳細は下記の通りです。

リソースグループ名	所属するリソース
・ All Resources	・ すべてのリソースが所属するリソースグループです。 ・ バージョンアップ前に作成されたリソースおよび、バージョンアップ後に作成されたリソースはすべて本リソースグループに所属します。
・ Unassigned	・ お客様が作成されたリソースグループ(以下、カスタムリソースグループ)に所属していないリソースが所属するリソースグループです。

2.1.2.2 廃止されるリソースグループ

v4.17.1 で廃止されるリソースグループは下記の通りです。

リソースグループ名
・ All Networks
・ All Resource Pools
・ All Storage
・ All Virtual Machines and Templates

バージョンアップ前に上記のリソースグループに所属しているリソースにおいては、上記のリソースグループの情報が削除されます。

2.1.2.3 カスタムリソースグループ

v4.17.1 においてもカスタムリソースグループは提供されます。

バージョンアップ前に作成されたカスタムリソースグループはバージョンアップ後も継続して提供されます。

ただし、バージョンアップ後は VM リソースのみカスタムリソースグループに追加または除外できます。

バージョンアップ前にカスタムリソースグループに所属するリソースにおいては、バージョンアップ後もリソースグループ情報が引き継がれます。

2.1.3 ロールの管理機能

v4.15とv4.17.1で提供される「ロール」の権限に差分があります。

下記のユーザーグループの組み合わせに所属するユーザーでは、バージョンアップ前に実施できた操作の一部がバージョンアップ後に実施不可となります。

実施不可になる操作を引き続きご利用されたい場合は、推奨対応策をご確認の上、お客様にて設定をお願い致します。

パターン	ユーザーグループの組み合わせ	実施不可になる操作	推奨対応策
1	<ul style="list-style-type: none"> • All Users • System Administrators • Public 	<ul style="list-style-type: none"> • User の追加 • User の削除 • User の編集 • User の UserGroup の変更 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Tenant の[Add User]および User の[Delete]、[Modify]、[Set User Groups]権限を含むカスタムロールを作成します。 2. 新規にカスタムユーザーグループを作成します。 3. All Resources に、作成したカスタムユーザーグループおよびカスタムロールを紐づけます。 4. 対象のユーザーを新規に作成したカスタムユーザーグループに追加します。 <p>詳細は別紙の「推奨対応策の実施手順 パターン 1」を参照ください。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> • All Users • Public 	<ul style="list-style-type: none"> • OVA ファイルの参照 	<ol style="list-style-type: none"> 1. OVA File の[Read]権限を含むカスタムロールを作成します。 2. 新規にカスタムユーザーグループを作成します。 3. All Resources に、作成したカスタムユーザーグループおよびカスタムロールを紐づけます。 4. 対象のユーザーを新規に作成したカスタムユーザーグループに追加します。 <p>詳細は別紙の「推奨対応策の実施手順 パターン 2」を参照ください。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> • All Users 	<ul style="list-style-type: none"> • All Resources に対し 	<ol style="list-style-type: none"> 1. All Resources に対し、カスタムユ

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Public ・ カスタムユーザーグループ 	し、カスタムユーザーグループに紐づくロールの操作	ーザーグループに紐づいていたロールを紐づけし直します。 詳細は別紙の「推奨対応策の実施手順 パターン 3」を参照ください。
4-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ All Users ・ Public ・ カスタムユーザーグループ ・ System Administrators ・ Tenant Administrators 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カスタムリソースグループ に対し、カスタムユーザーグループに紐づくロールの操作	1. カスタムリソースグループに対し、カスタムユーザーグループに紐づいていたロールを紐づけし直します。 詳細は別紙の「推奨対応策の実施手順 パターン 4」を参照ください。
4-2	<ul style="list-style-type: none"> ・ All Users ・ Public ・ カスタムユーザーグループ ・ System Administrators ・ Tenant Administrators ・ Compliance Documents ・ Invoice Documents 	同上	同上

なお、上記以外のユーザーグループの組み合わせでは、実施不可になる操作はございません。

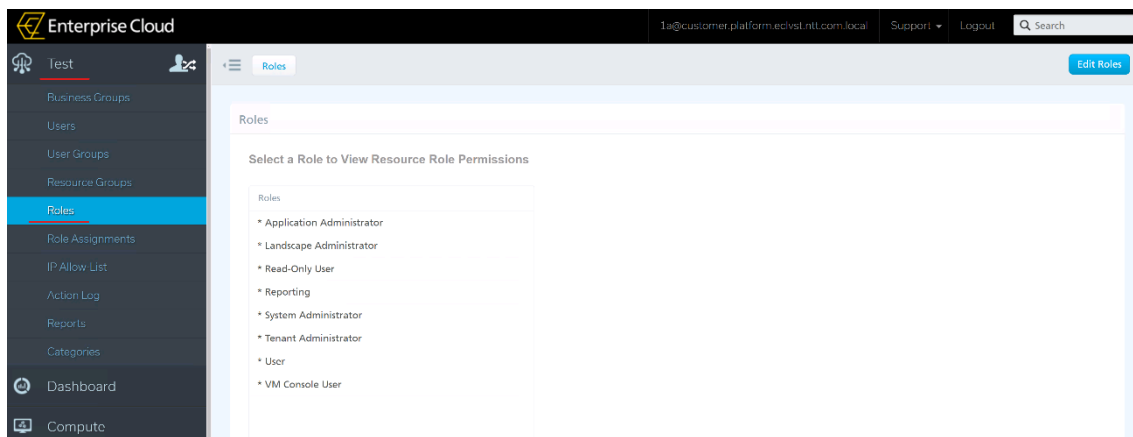
別紙：推奨対応策の実施手順

以下の手順は「Tenant Administrators」のユーザーグループに所属するユーザーで実施してください。

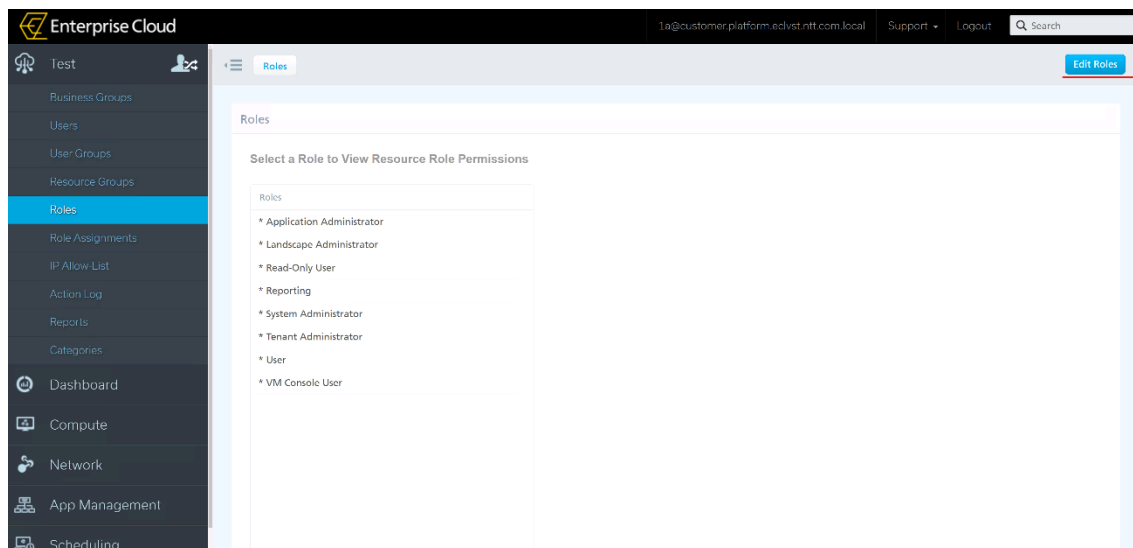
■ パターン 1

<手順 1> カスタムロールの作成

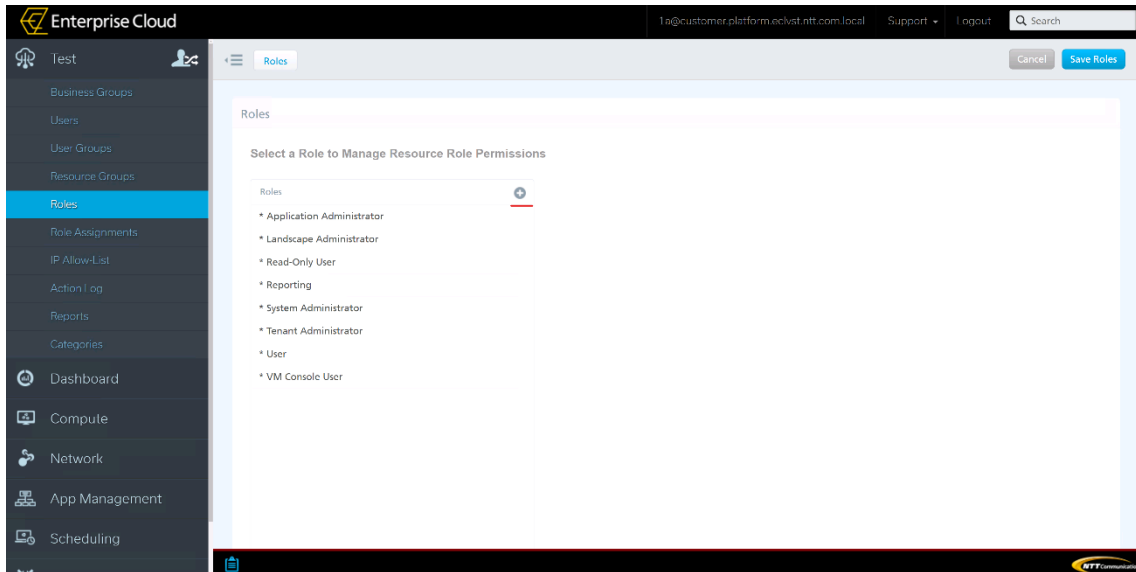
(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Roles]をクリックし、Role 一覧へ移動します。



(2) [Edit Roles]をクリックします。

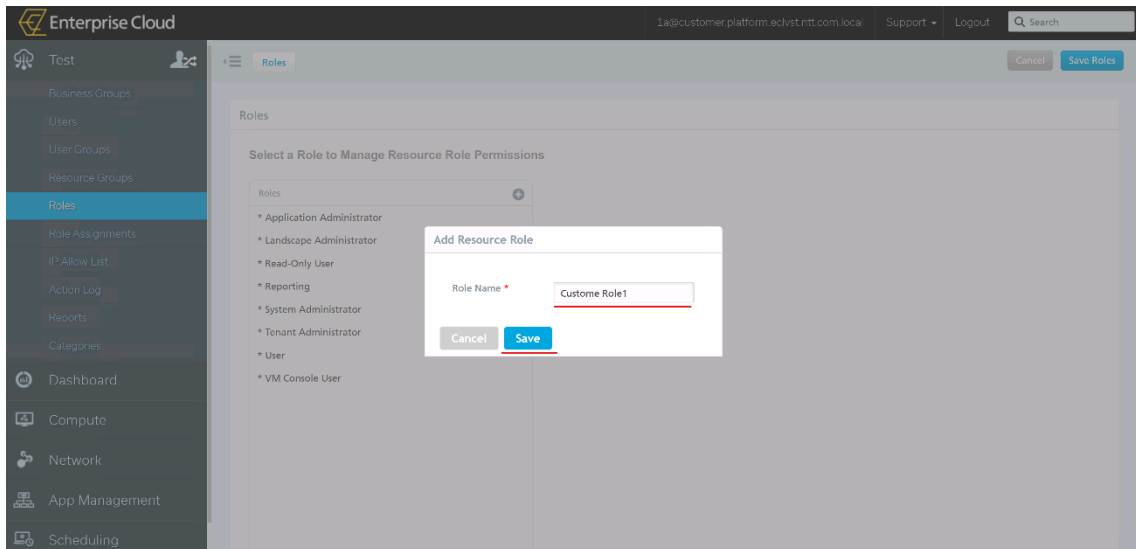


(3)[+]をクリックします。

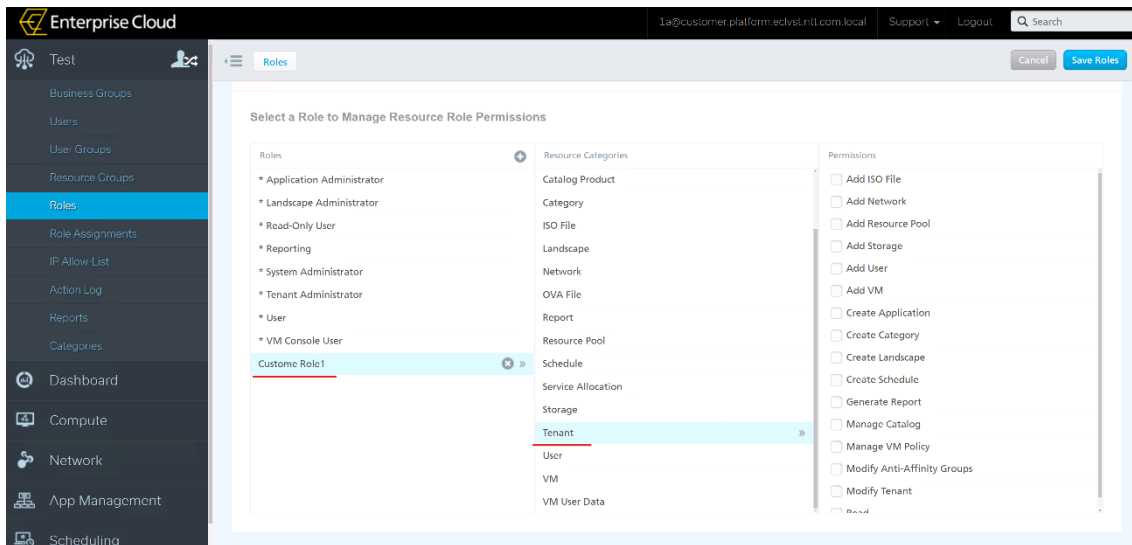


(4)ポップアップが表示されるので、[Role Name]に[*¹Custom Role1]と入力します。

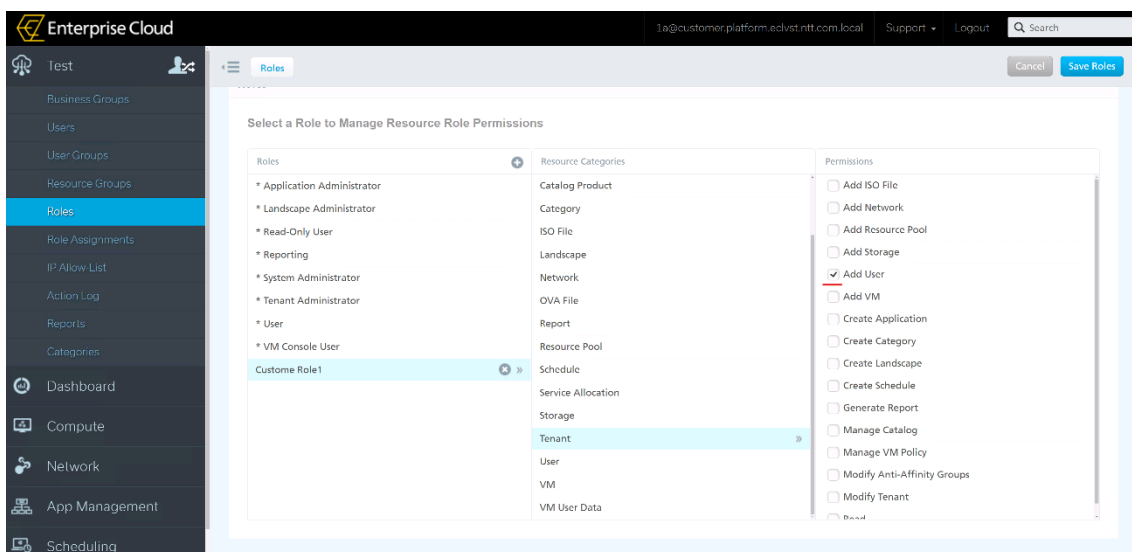
*¹ロール名はお客様にて任意の文字列を設定いただけます。



(5)作成したカスタムロール[Custom Role1]をクリックし、Resource Categories から[Tenant]をクリックします。

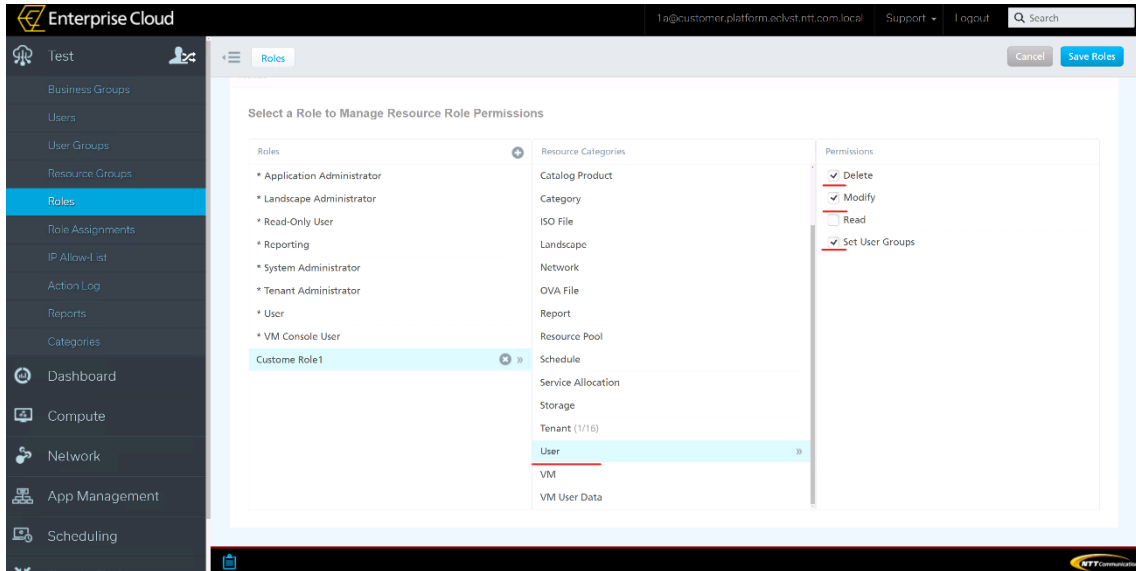


(6)Permissions から[Add User]のチェックボックスにチェックを入れます。



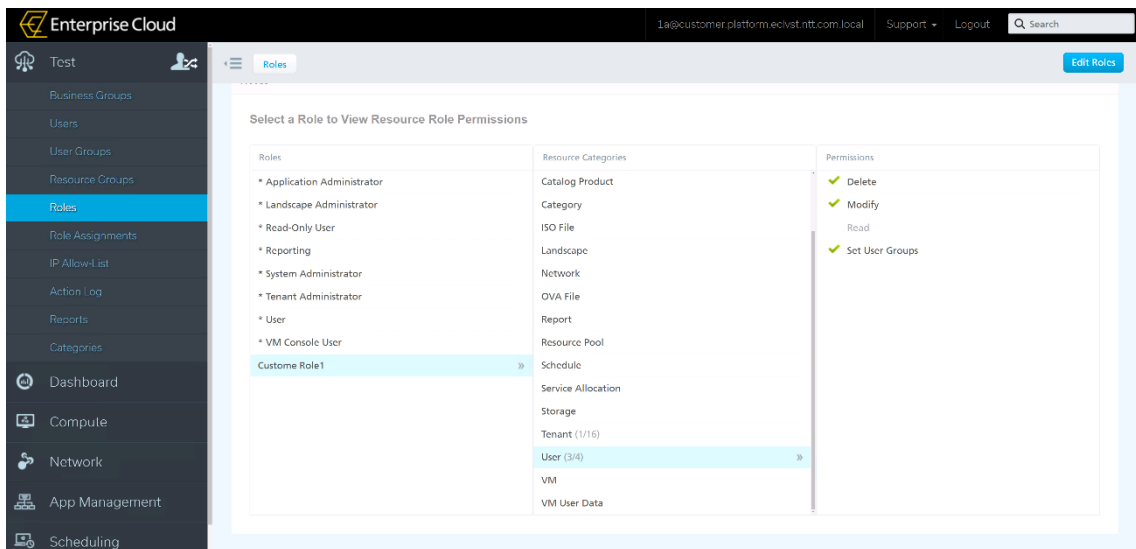
(7) Resource Categories から[User]をクリックします。

Permissions から[Delete]、[Modify]、[Set User Groups]のチェックボックスにチェックを入れます。



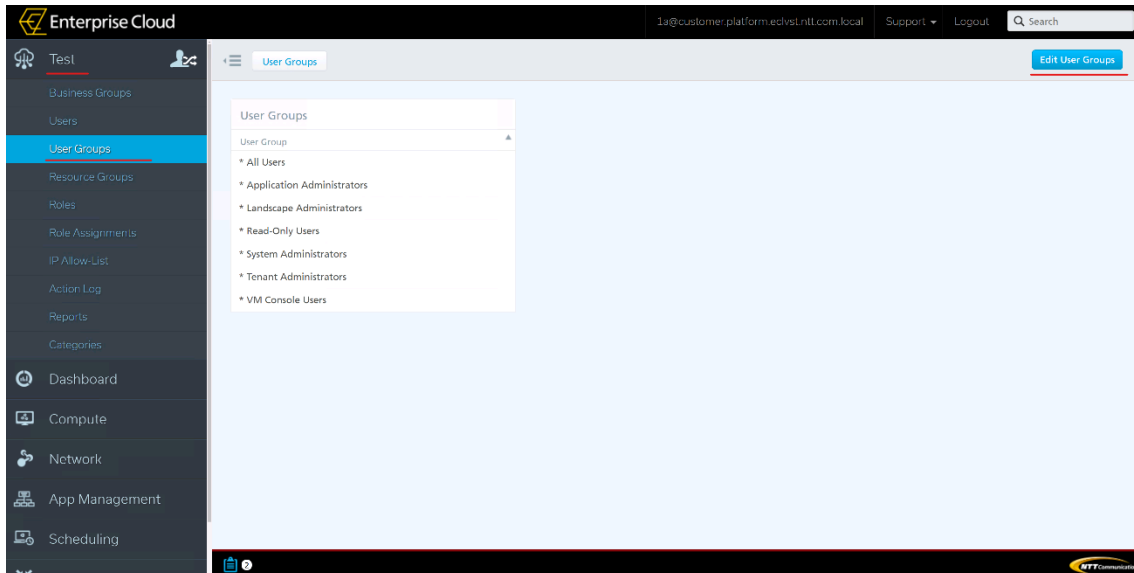
(8)[Save Roles]をクリックし、Role 設定を保存します。

(9) 作成したカスタムロール[Custom Role1]をクリックし、正しく設定されていることを確認します。

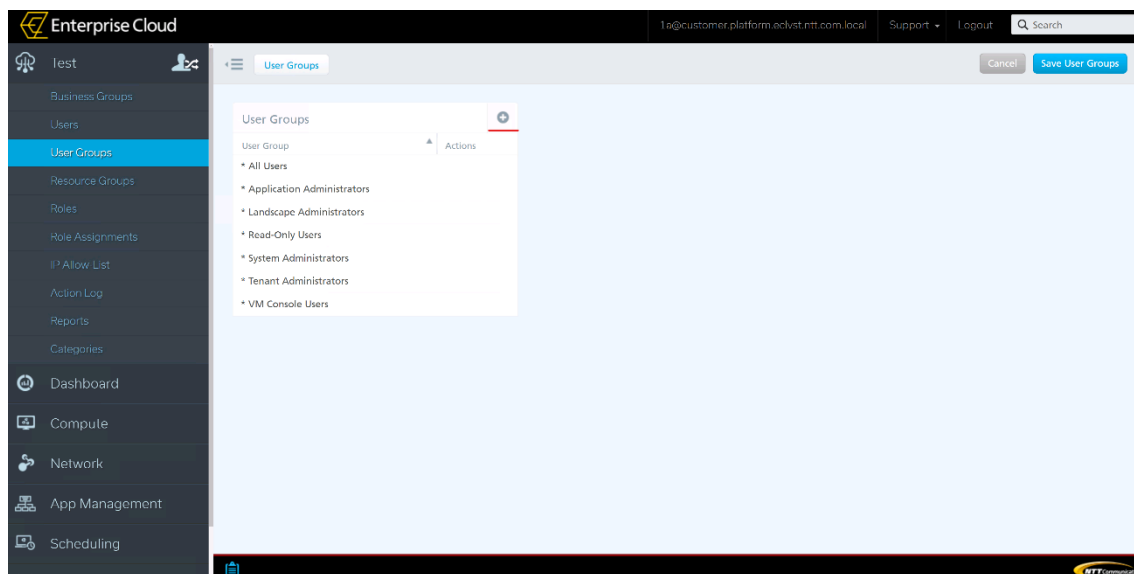


<手順2> カスタムユーザーグループの作成

(1)左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[User Groups]をクリックし、[Edit User Groups]をクリックします。

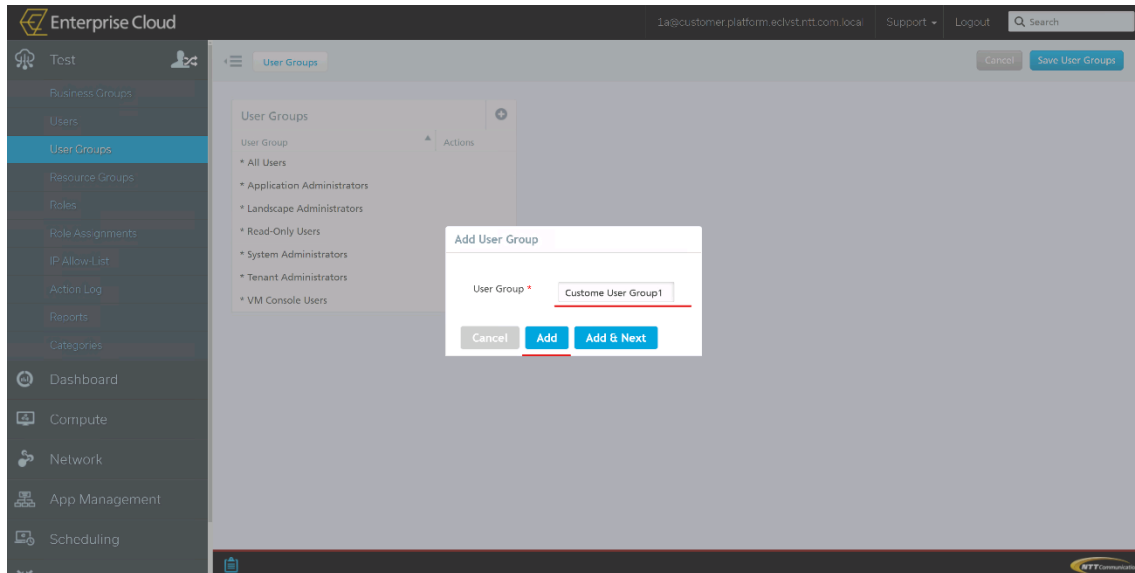


(2)[+]ボタンをクリックします。

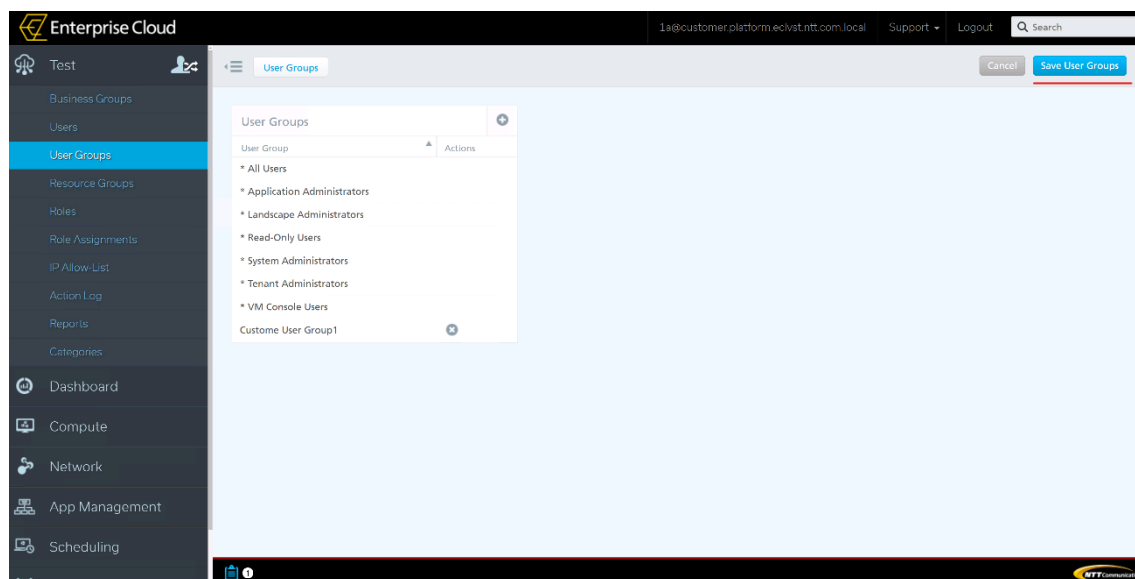


(3)ポップアップが表示されるので、[User Group]に [*²Custom User Group1]と入力し、[Add]をクリックします。

*² ユーザーグループ名はお客様にて任意の文字列を設定いただけます。

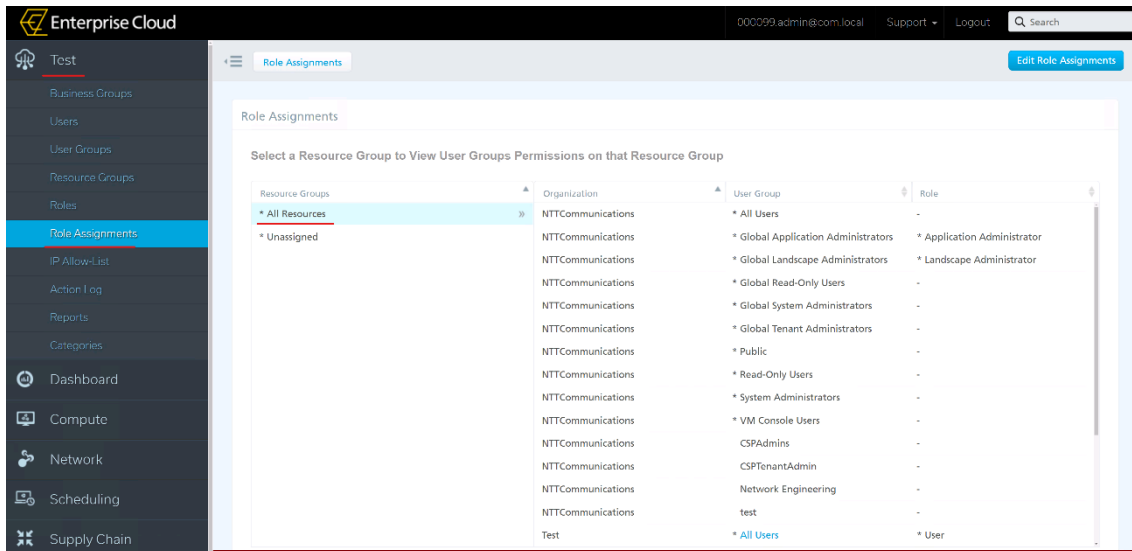


(4)[Save User Groups]をクリックし、作成したユーザーグループが追加されていることを確認します。



<手順 3> Role Assignment の設定

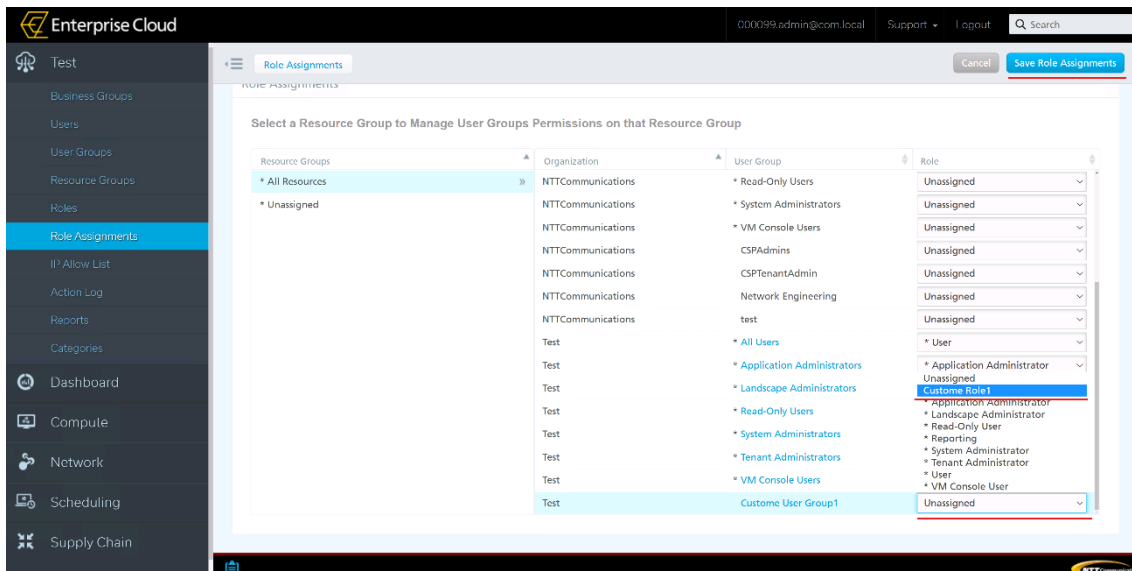
- (1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Role Assignments]をクリックし、Resource Groups から[*All Resources]をクリックします。



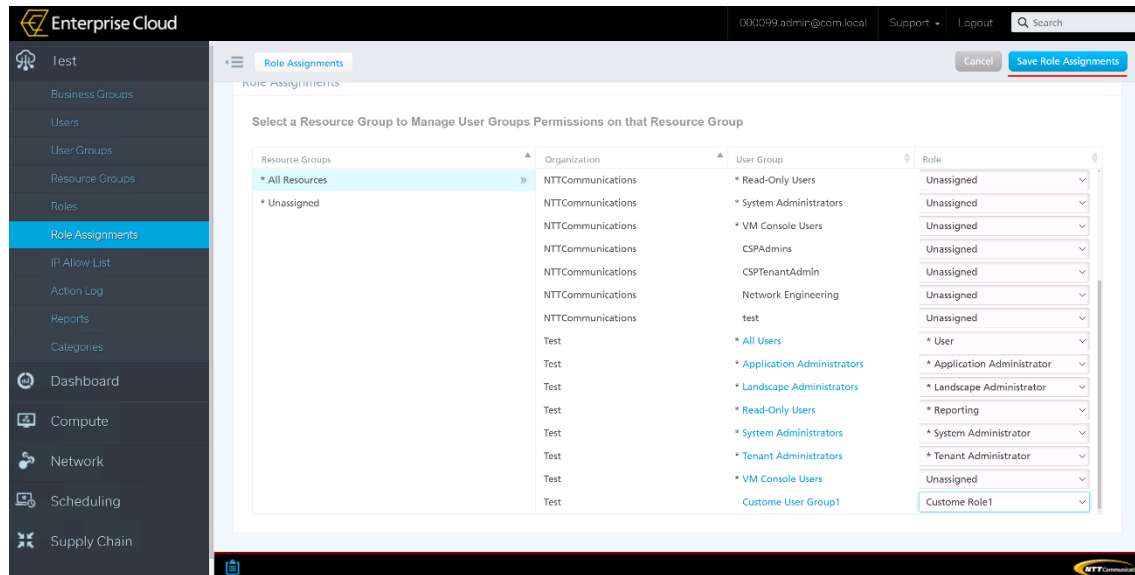
- (2)[Edit Role Assignments]をクリックします。

- (3)User Group から [*³Custom User Group1]を、Role から[*⁴Custom Role1]を選択します。

*^{3,4} 手順 1、手順 2 で作成したカスタムユーザーグループおよびカスタムロールを選択してください。

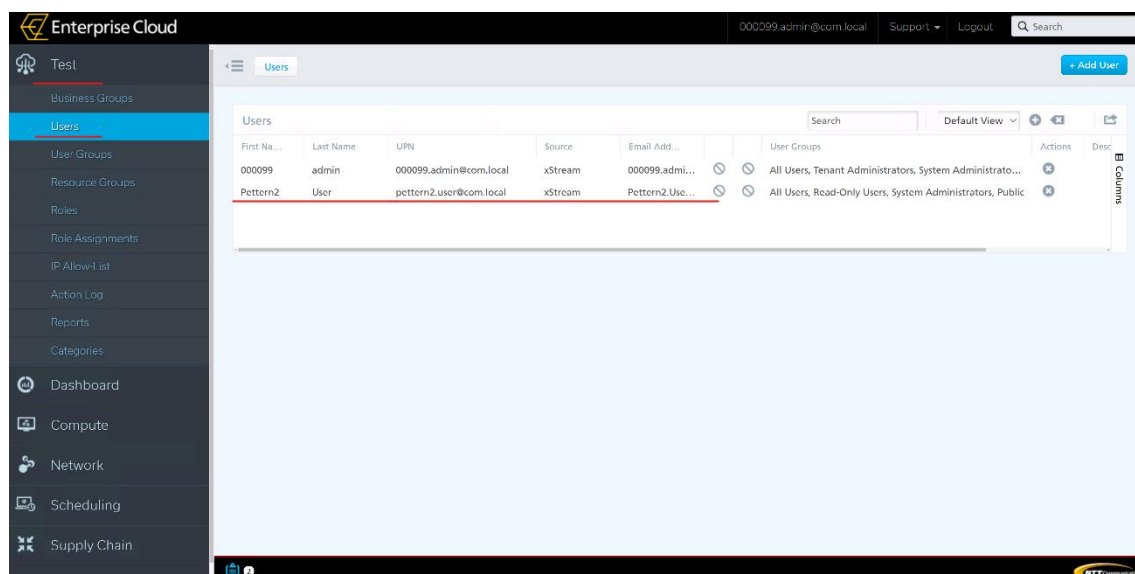


(4) [Save Role Assignments]をクリックし、設定が反映されたことを確認します。

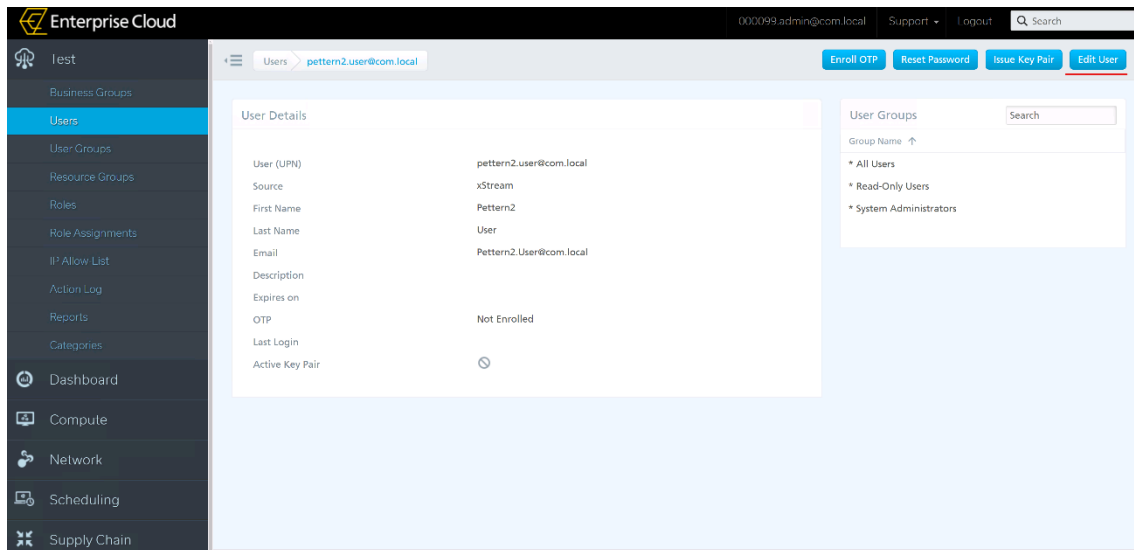


<手順 4> 対象ユーザーをカスタムユーザーグループに追加

(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Users]をクリックし、対象のユーザーをクリックします。

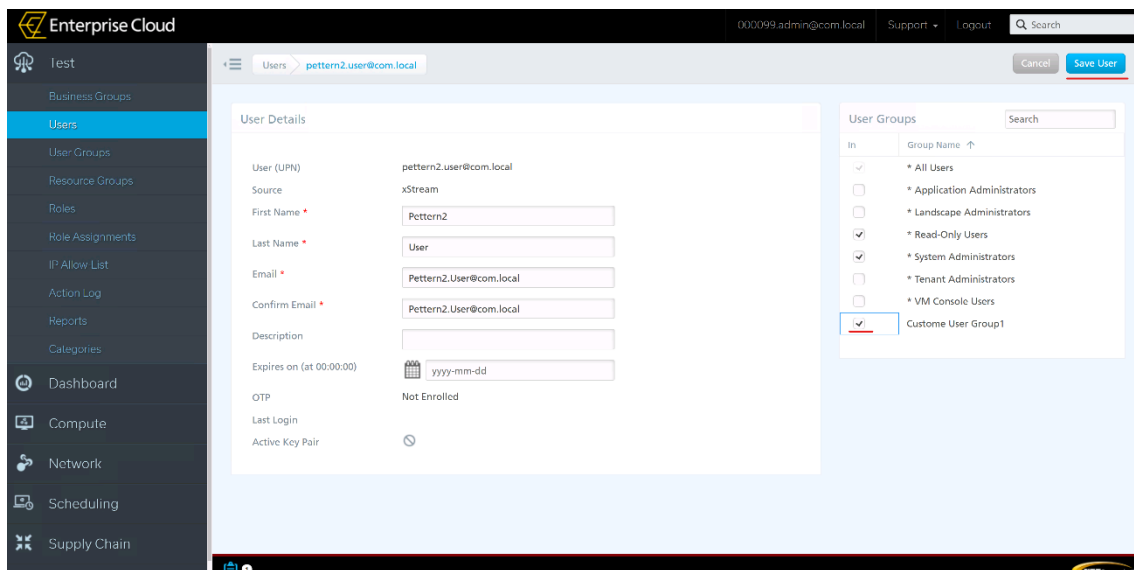


(2)[Edit User]をクリックします。



(3)User Groups から [*⁵Custom User Group1]のチェックボックスにチェックを入れ、[Save User]をクリックします。

*⁵ 手順 2 で作成したカスタムユーザーグループを選択してください。

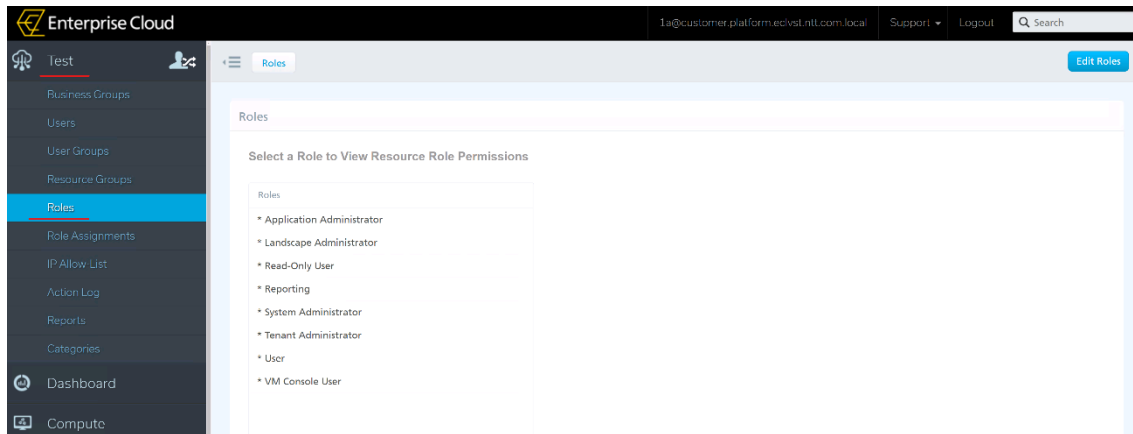


(4)設定が反映されたことを確認します。

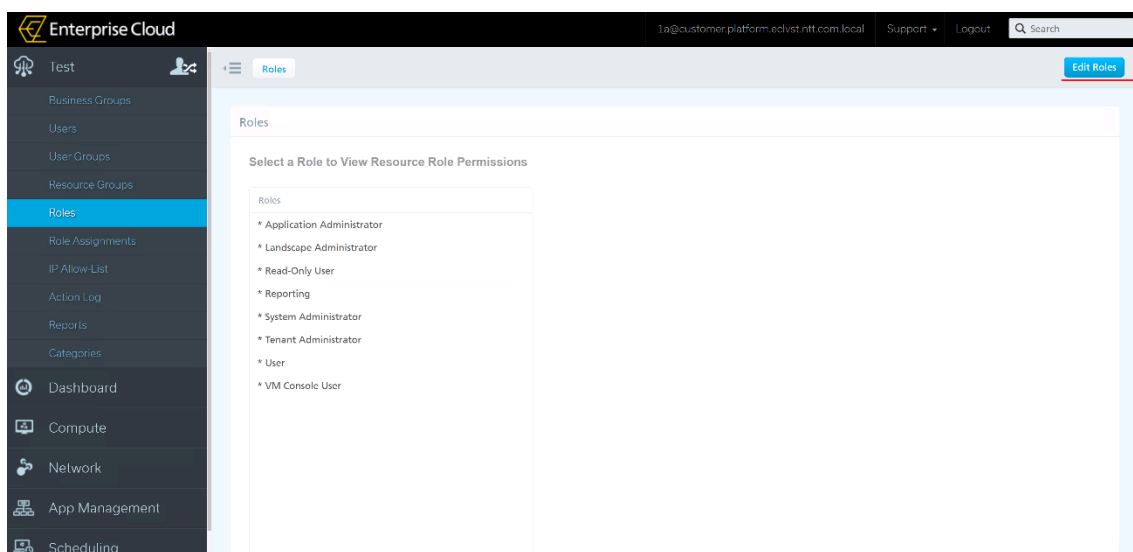
■ パターン 2

＜手順 1＞ カスタムロールの作成

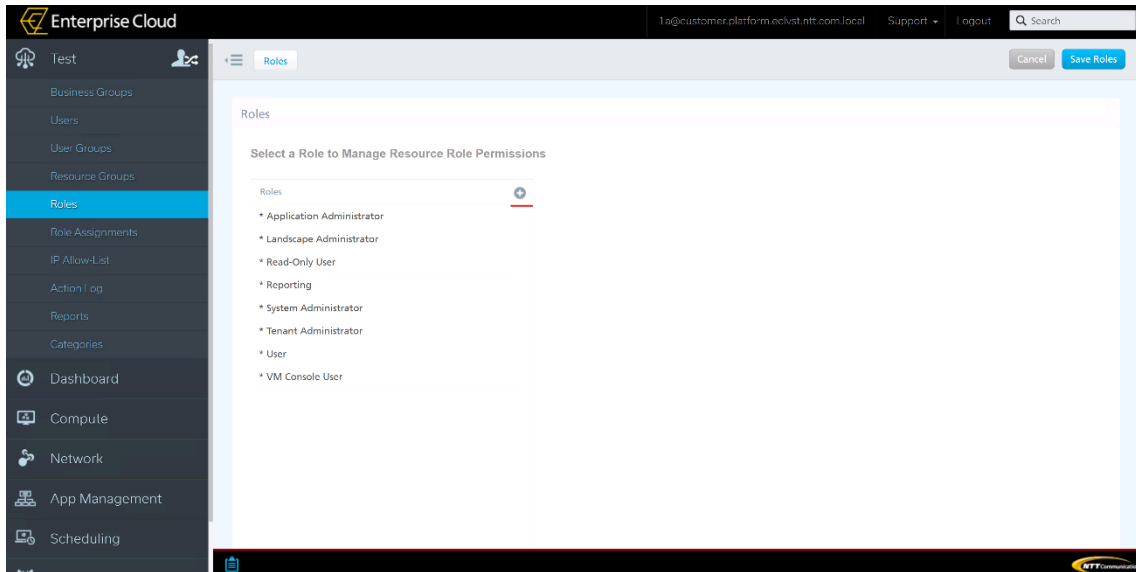
(1)左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Roles]をクリックし、Role 一覧へ移動します。



(2)[Edit Roles]をクリックします。

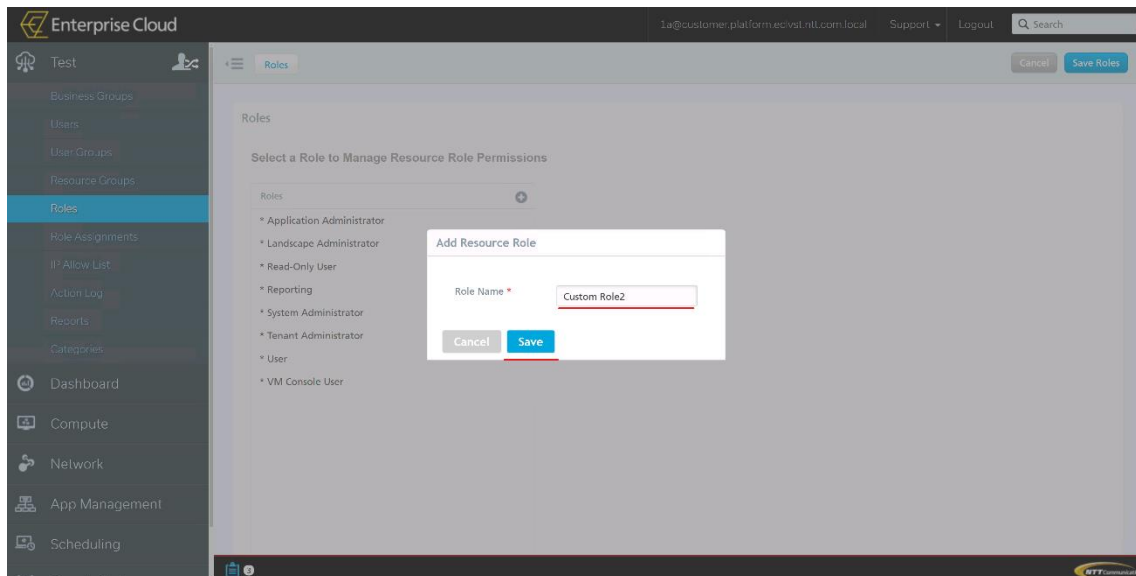


(3)[+]をクリックします。

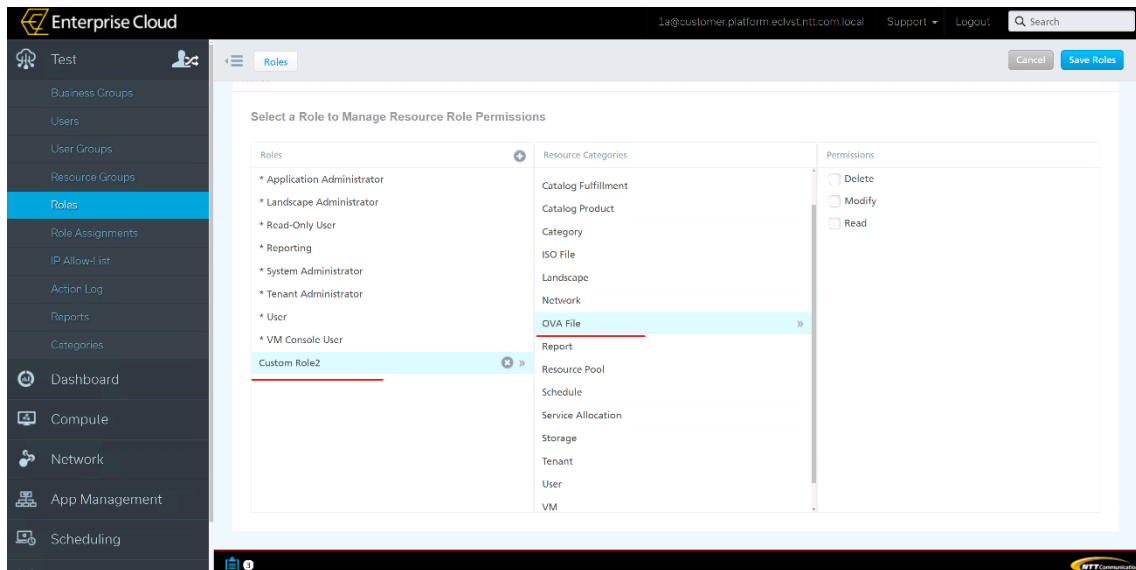


(4)ポップアップが表示されるので、[Role Name]に[*⁶Custom Role2]と入力します。

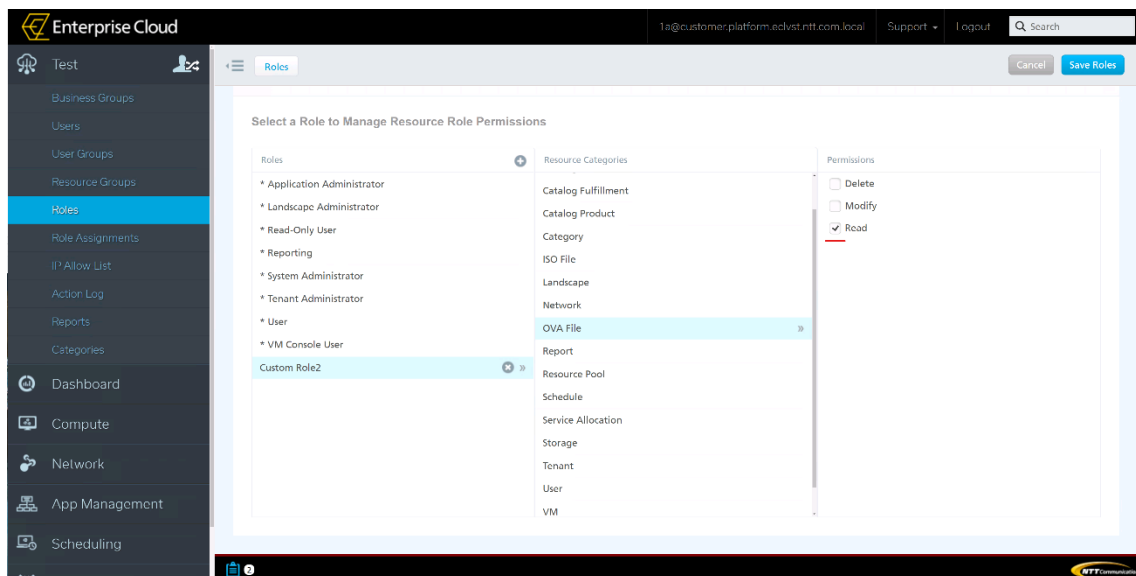
*⁶ロール名はお客様にて任意の文字列を設定いただけます。



(5)作成したカスタムロール[Custom Role2]をクリックし、Resource Categories から[OVA File]をクリックします。

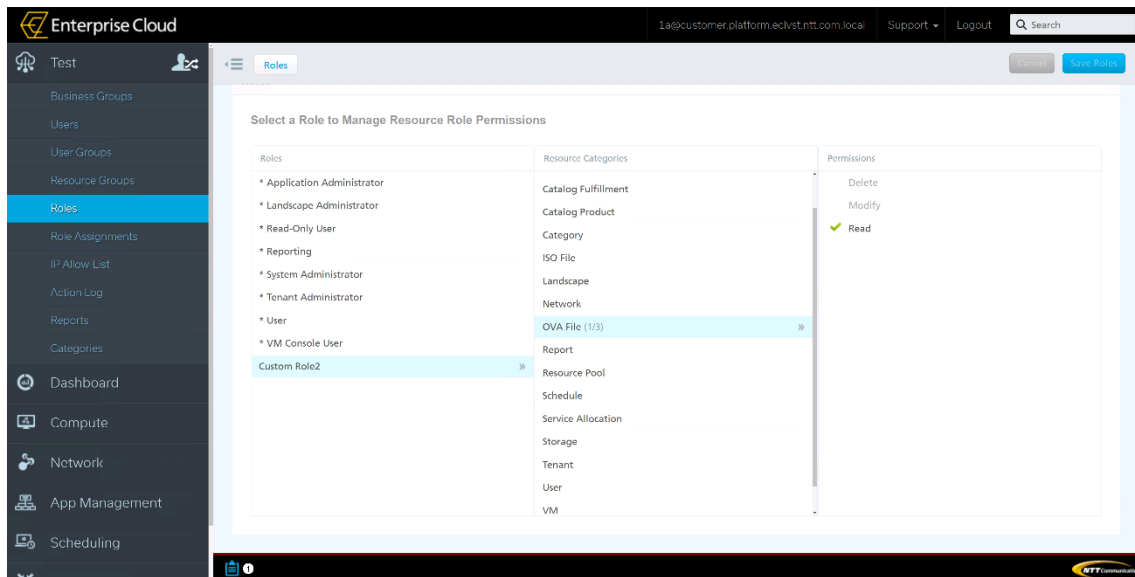


(6)Permissions から[Read]のチェックボックスにチェックを入れます。



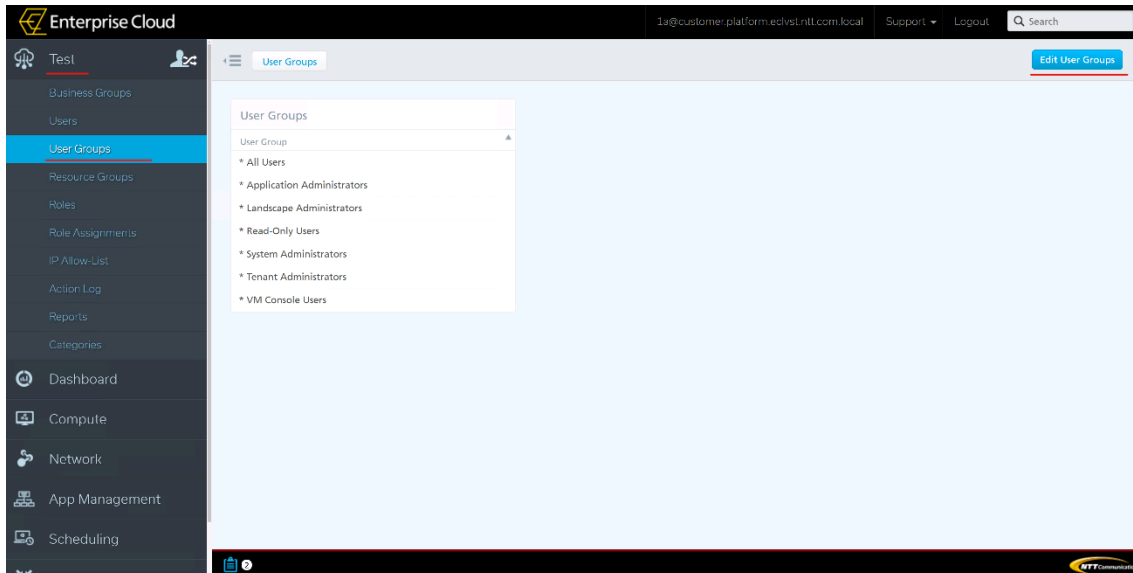
(7)[Save Roles]をクリックし、Role 設定を保存します。

(8) 作成したカスタムロール[Custom Role2]をクリックし、正しく設定されていることを確認します。

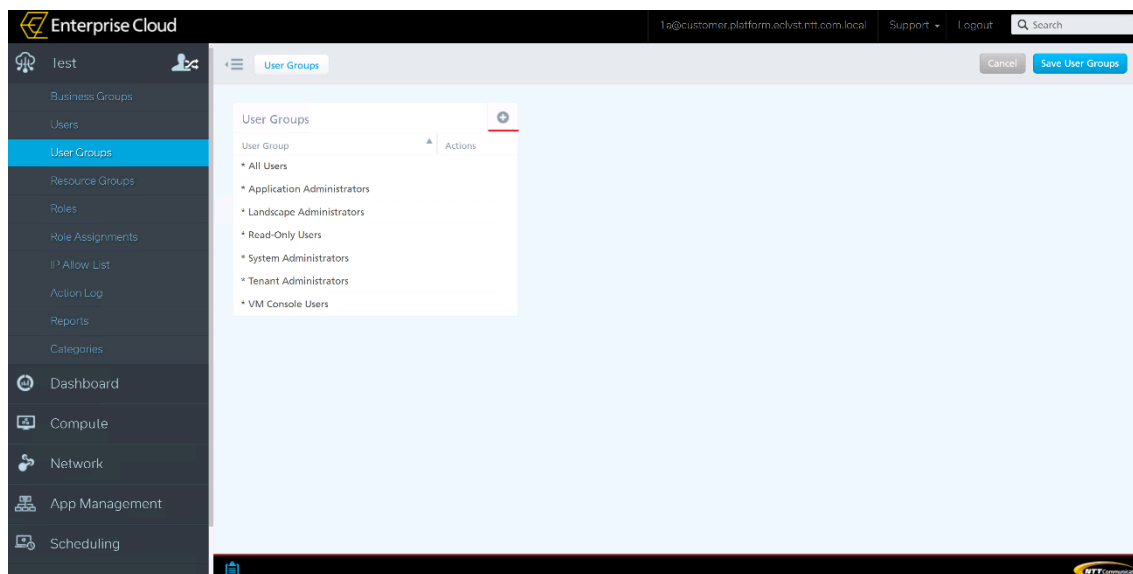


＜手順２＞ カスタムユーザーグループの作成

(1)左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[User Groups]をクリックし、[Edit User Groups]をクリックします。

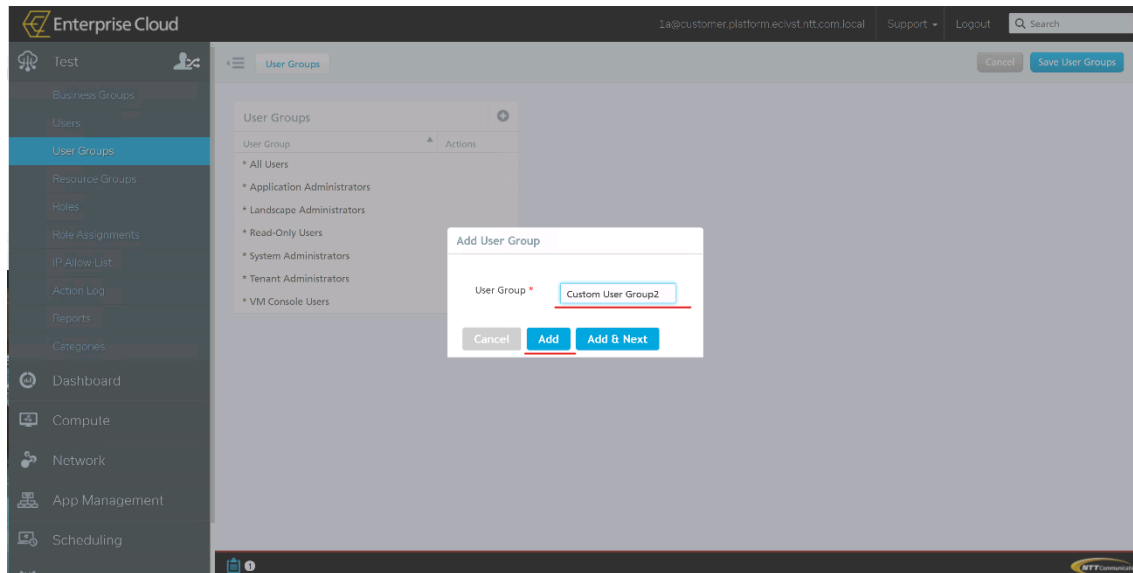


(2)[+]ボタンをクリックします。

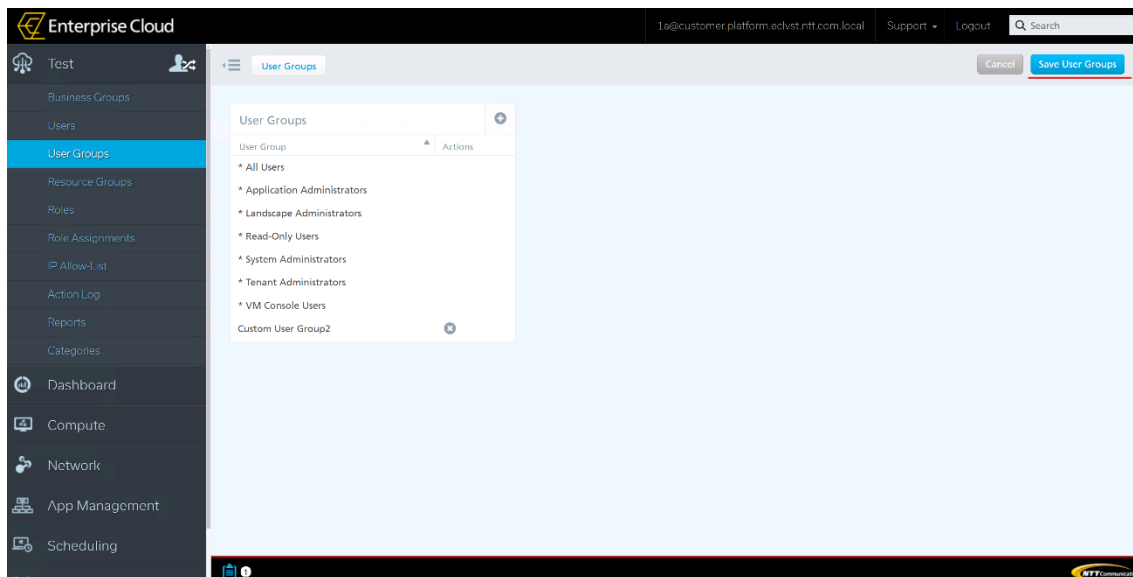


(3)ポップアップが表示されるので、[User Group]に [*⁷Custom User Group2]と入力し、[Add]をクリックします。

*⁷ ユーザーグループ名はお客様にて任意の文字列を設定いただけます。



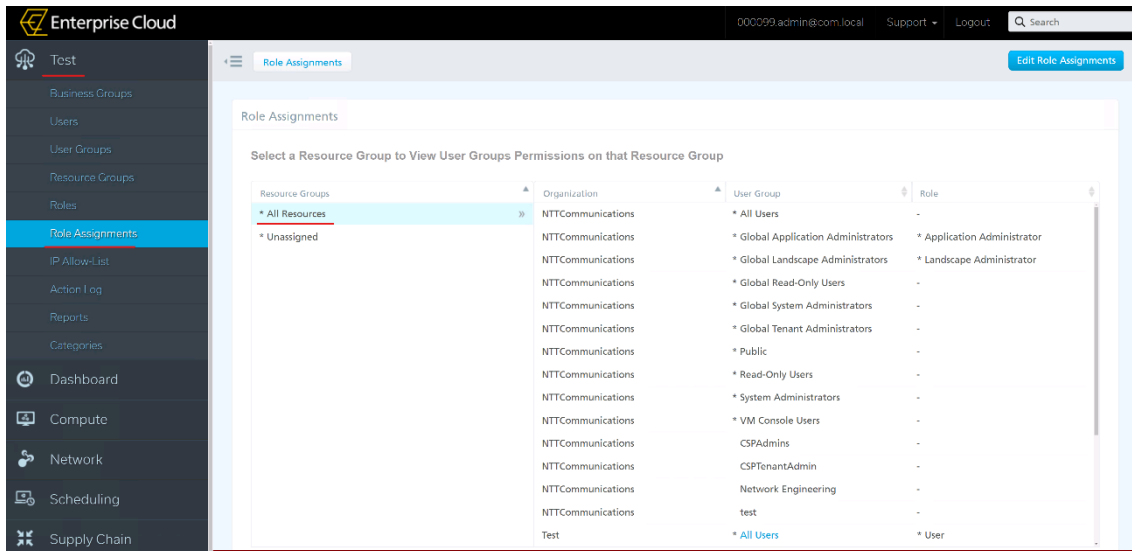
(4)[Save User Groups]をクリックし、作成したユーザーグループが追加されていることを確認します。



<手順 3> Role Assignment の設定

(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Role Assignments]をクリックし、

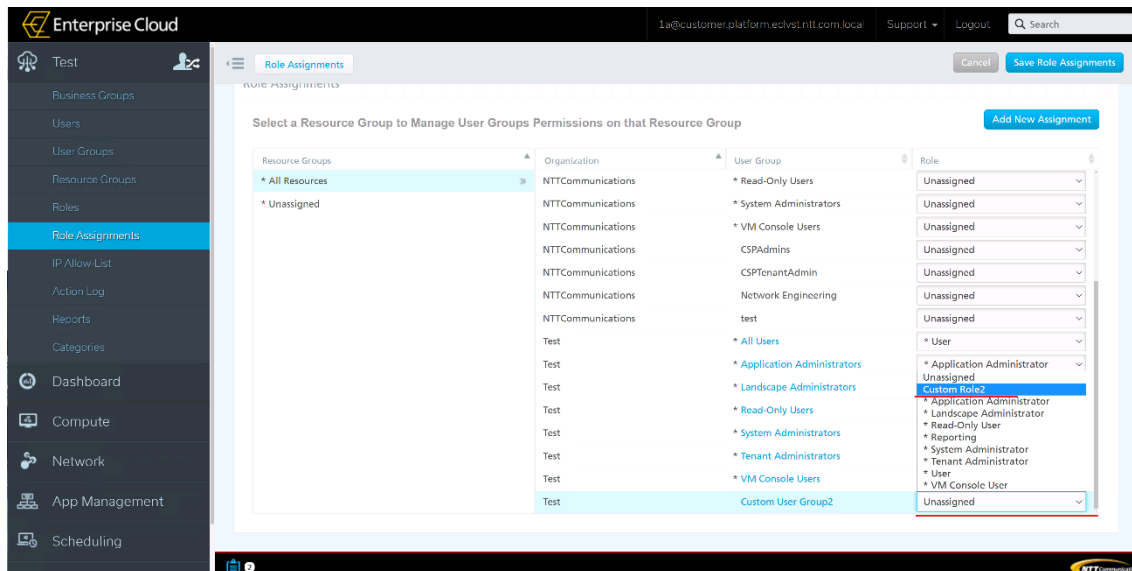
Resource Groups から[*All Resources]をクリックします。



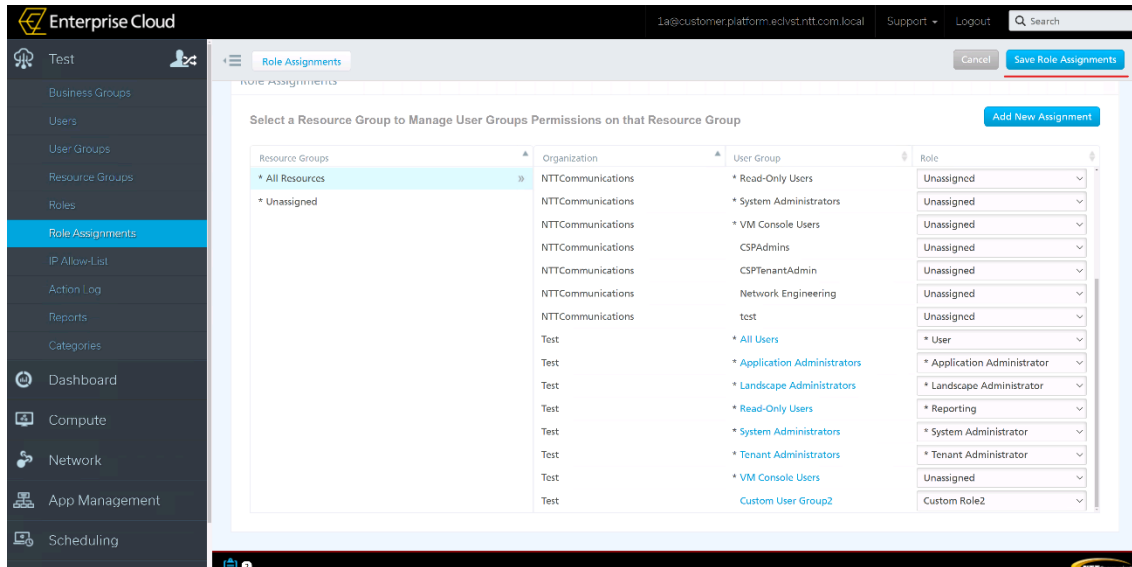
(2)[Edit Role Assignments]をクリックします。

(3)User Group から [*⁸Custom User Group2]を、Role から[*⁹Custom Role2]を選択します。

*^{8,9} 手順 1、手順 2 で作成したカスタムユーザーグループおよびカスタムロールを選択してください。

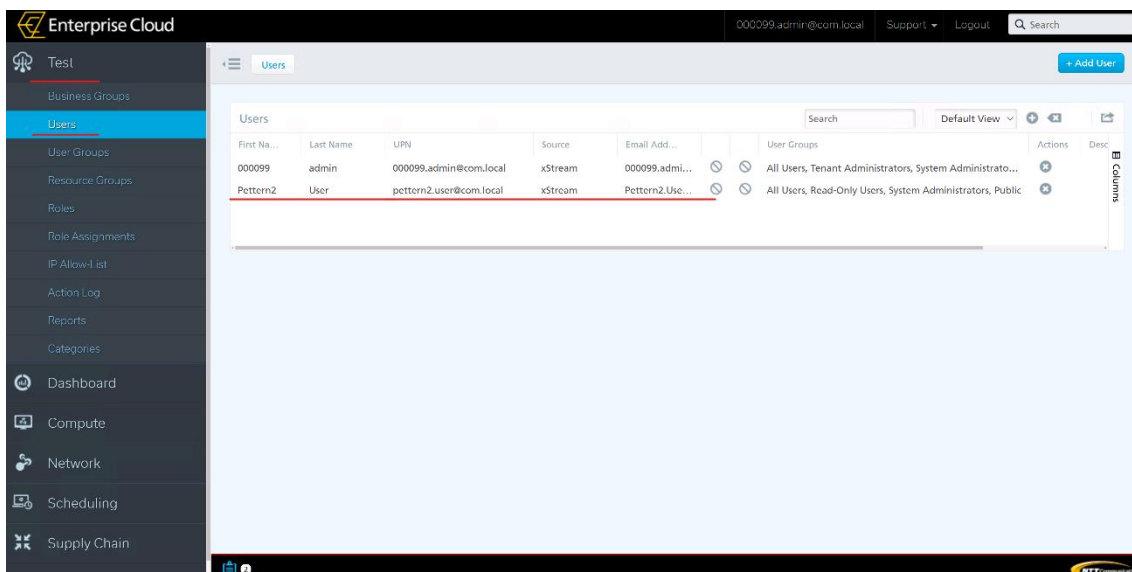


(4)[Save Role Assignments]をクリックし、設定が反映されたことを確認します。

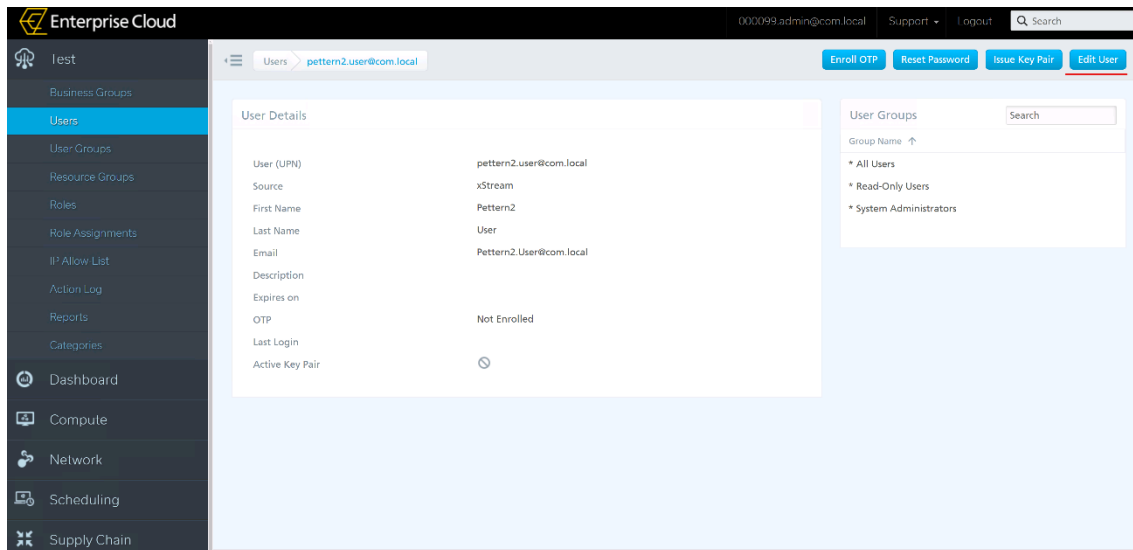


<手順 4> 対象ユーザーをカスタムユーザーグループに追加

(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Users]をクリックし、対象のユーザーをクリックします。

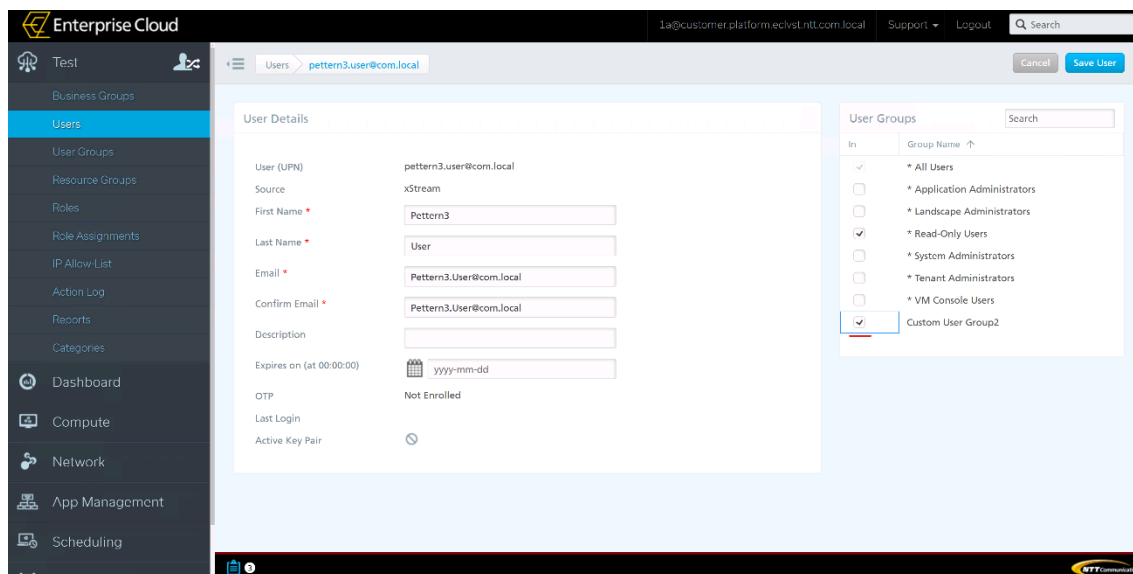


(2)[Edit User]をクリックします。



(3)User Groups から [*¹⁰Custom User Group2]のチェックボックスにチェックを入れ、[Save User]をクリックします。

*¹⁰ 手順 2 で作成したカスタムユーザーグループを選択してください。

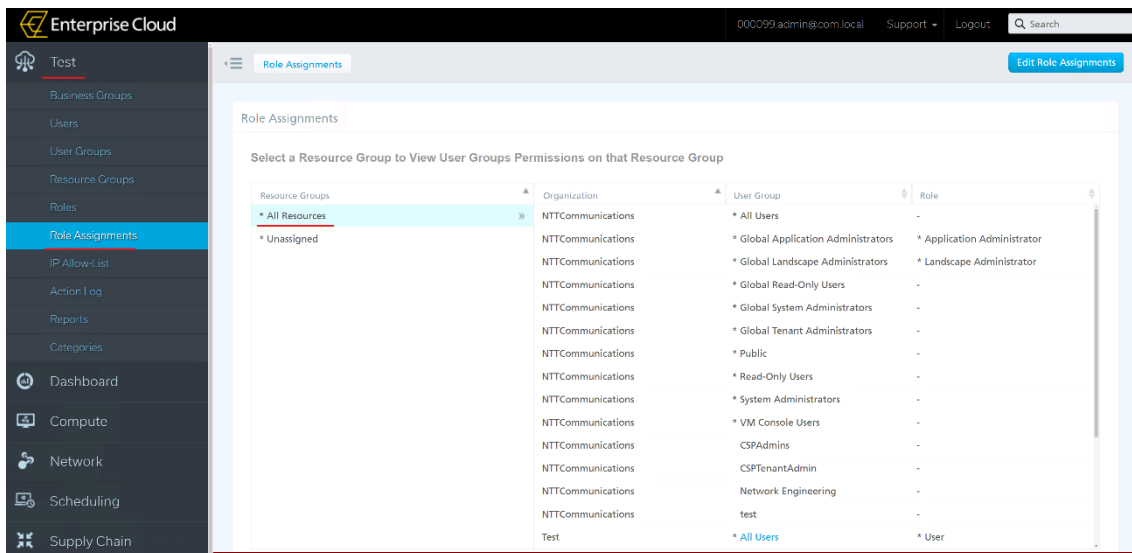


(4)設定が反映されたことを確認します。

■ パターン 3

<手順 1> Role Assignment の設定

(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Role Assignments]をクリックし、Resource Groups から[*All Resources]をクリックします。

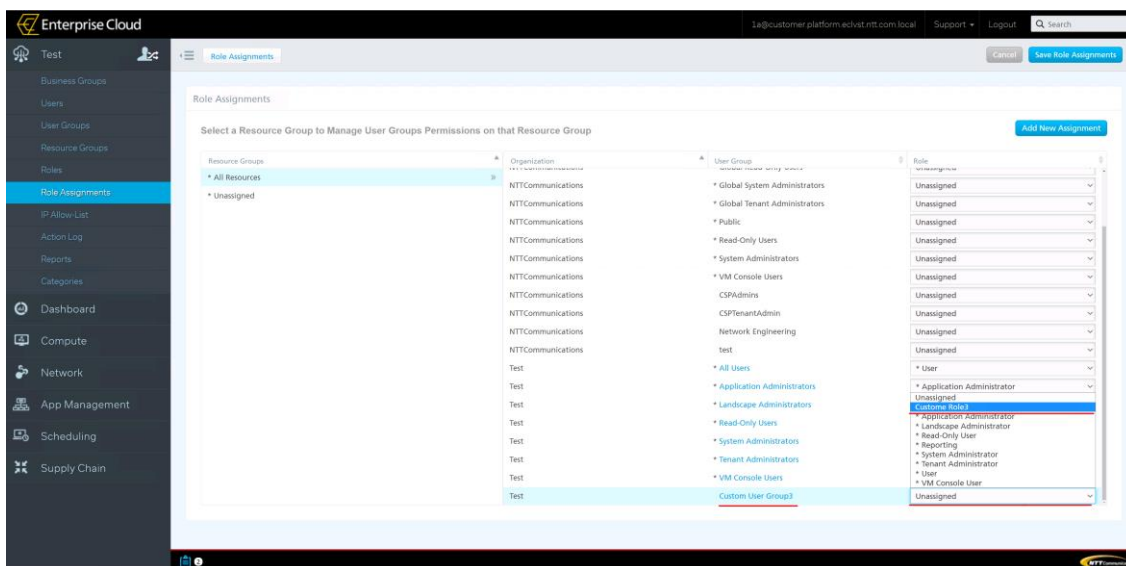


(2)[Edit Role Assignments]をクリックします。

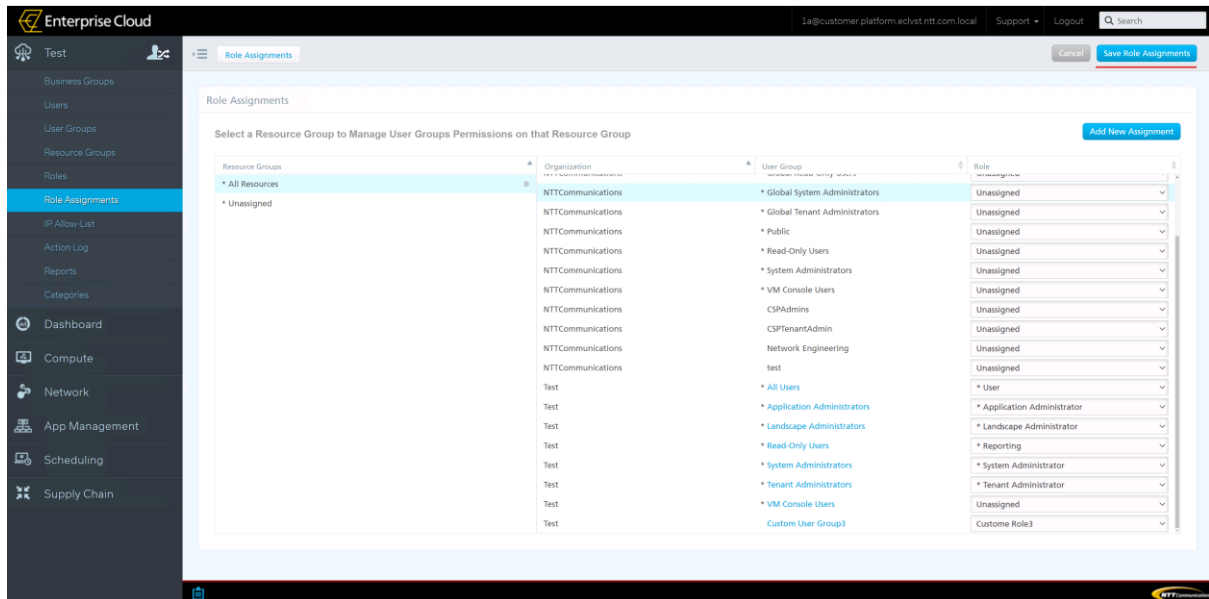
(3)User Group から [*¹¹Custom User Group3]を、Role から[*¹²Custom Role3]を選択します。

*¹¹ Role が Unassigned となっているカスタムユーザーグループ

*¹² カスタムユーザーグループと紐づけられていたカスタムロール



(4)[Save Role Assignments]をクリックし、設定が反映されたことを確認します。

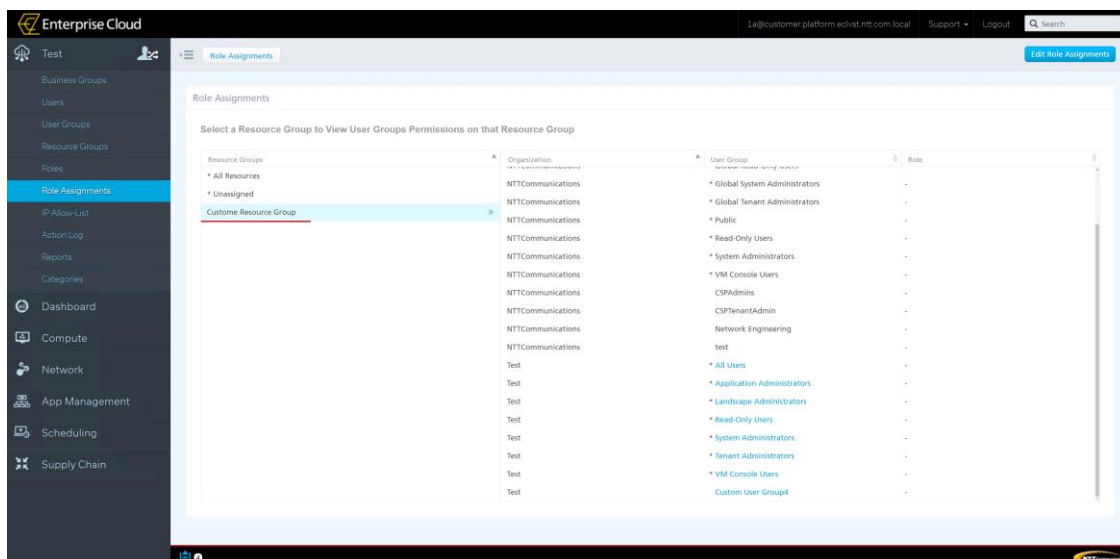


■ パターン 4

<手順 1> Role Assignment の設定

(1) 左ナビゲーションバーの[Tenant Name]から[Role Assignments]をクリックし、Resource Groups から[*¹³Custom Resource Group]をクリックします。

*¹³ 任意で作成されたカスタムリソースグループ

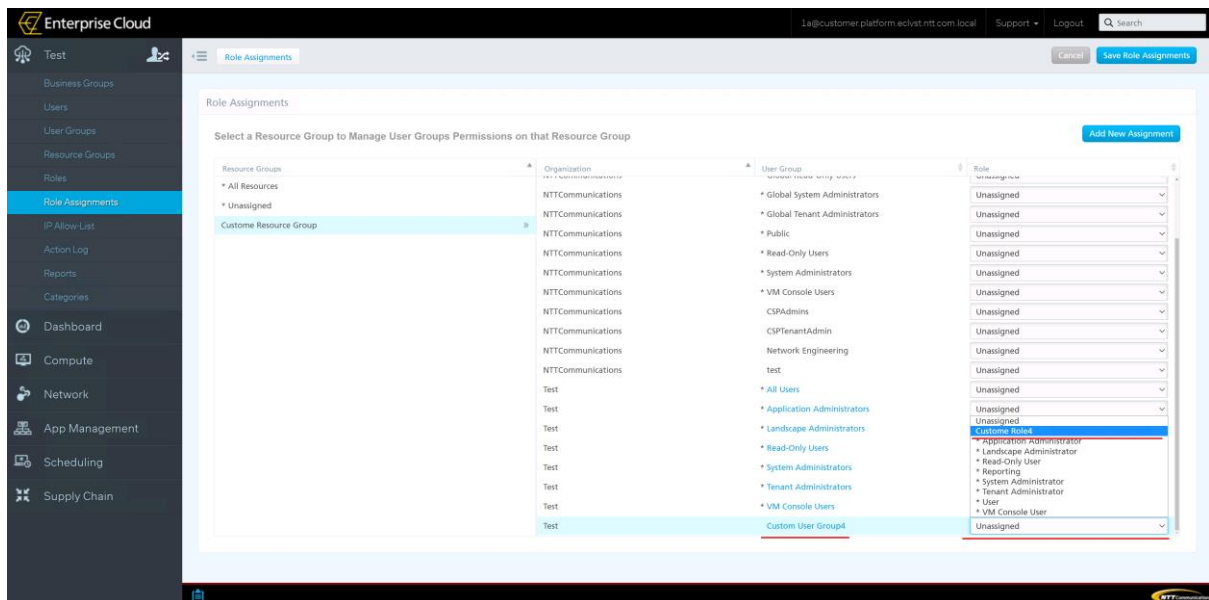


(2)[Edit Role Assignments]をクリックします。

(3)User Group から [*¹⁴Custom User Group4]を、Role から[*¹⁵Custom Role4]を選択します。

*¹⁴ Role が Unassigned となっているカスタムユーザーグループ

*¹⁵ カスタムユーザーグループと紐づけられていたカスタムロール



(4)[Save Role Assignments]をクリックし、設定が反映されたことを確認します。